

## オーストラリア 柑橘類産業へのブラジル産オレンジ危機の影響

[FreshPlaza](#) 2024年6月4日

オーストラリアの柑橘類産業は、国内の品不足を埋め、輸出を増やすことができるかも知れない

世界で年間約5千万トン生産されるオレンジのうちブラジルはその34%を占め、同国はオレンジ果汁の主要輸出国でもあって世界の供給量の約70%を占めている。しかし、ブラジルの2024-25年度シーズンのオレンジ生産量は、深刻な干ばつ、熱ストレス、及びカンキツグリーンング病の蔓延により24%以上減少すると予想されており、この収穫量は1980年代後半以降としては最小となる。この減少は、米国フロリダ州、イスラエル、スペイン、アルゼンチン等の主要産地でより広範に見られる減少傾向の一部であり、冷凍濃縮オレンジ果汁の記録的な先物価格を招いている。

### 濃縮オレンジ果汁の7大生産地 2023/24年度

65ブリックス換算濃縮オレンジ果汁製造トン数

15,000 110万



Map: The Conversation • Source: United States Department of Agriculture

オーストラリアはオレンジの生産量が多いが、冷凍濃縮オレンジ果汁の輸入、特にブラジルからの輸入への依存度が高い。この依存は、オレンジ果汁や関連製品の供給不足と価格上昇につながる可能性がある。オーストラリアの柑橘類産業は、国内の品不足を埋め、輸出を増やす機会を得る可能性があるものの、高い生産コスト、労働力不足、大手スーパーマーケットチェーンが支配する市場力学のために課題は続いている。

### オーストラリアの柑橘類生産者はどうすれば回復力を高めることができるのか？

オレンジ果汁の供給不足が続く中、オーストラリアの柑橘類産業の回復力を高めるかも知れない方策がいくつかある。大きな要因の1つは、総生産費の中で大きな部分を占める人件費の高さである。自動化を進めることで手作業への依存を減らし、生産コストを削減できる可能性がある。しかし、中小の事業者にとってはこうした技術の導入は難しい可能性があり、補助金による政府の支援が必要となっている。

さらに、販売チャネルの多様化は、生産者に力を与え、大型スーパーマーケットへの依存を減らす可能性がある。戦略としては、消費者への直接販売、ファーマーズマーケットへの参加の拡大、共同販売への取り組み等がある。また、果実加工施設の増設や国際市場へのアクセス強化を優先的に行うことも推奨される取り組みである。

さらに、気候変動が農業・食品部門、特にオレンジ生産に与える脅威は重大である。気候変動に強い品種に関する研究を強化し、再生可能エネルギーに投資し、これらのリスクを軽減するために生産者に教育プログラムを提供することが推奨される。

出典: [theconversation.com](https://theconversation.com)